



## 製品仕様

**型式:** PX-S1100BK/PX-S1100WE/PX-S1100RD
**鍵盤:** 88鍵 / デュエット: 音域変更可(−2〜+2オクターブ) / トランスポーズ: −12〜0〜+12半音 / オクターブシフト: −2〜0〜+2オクターブ
**音源:** 音色数: 18(全鍵盤用音色17+低域専用ベース音色1) / レイター可(ベース音色を除く) / スプリット可(低域はベース音色のみ) / 同時演奏音数: 最大192音 / タッチレスボンス機能(感度設定5種類, オフ) / チューニング: 415.5Hz〜440.0Hz〜465.9Hz(0.1Hz単位) / 音律: 平均律+16種類
**アコースティックシミュレーター:** ハンマーレス録音、キーオフレソボンス、ストリングレゾナンス、ダンパーレスボンス、ダンパーノイズ、キーオンアクションノイズ、キーオフアクションノイズ
**サウンドモード:** ホールシミュレーター(4種)、サラウンド(2種)

**その他エフェクト:** コーラス(4種)、DSP、プリアンス(−3〜0〜3)
**デモ曲:** 1曲
**ミュージックライブラリー:** 内蔵曲: 60曲、ダウンロード曲: 10曲(1曲あたり最大約90KB、10曲で約900KB、表記容量は1KB=1024バイト、1MB=1024バイト換算) / 曲の音量・調節可(録音機能と兼用) / パートのオン/オフ:L、R

**録音機能(MIDIレコーダー):** 方式:リアルタイム録音、再生 / 曲数: 1曲 / 録音トラック数: 2トラック / 音種・合計約10,000音符 / 録音内容の保持: 内蔵フラッシュメモリー / 曲の音量・調節可(ミュージックライブラリーと兼用)
**録音機能(オーディオレコーダー):** オーディオデータとしてリアルタイム録音、再生 / 曲数: 99曲(ファイル / ファイル形式: WAV形式(リニアPCM、16bit、44.1kHz、ステレオ) / 最大録音時間: 1ファイルあたり約25分 / 録音内容の保持: USBメモリー

**メトロノーム:** 拍子: ベル音・オフ、1〜9(拍子) / テンポ範囲: 20〜255 / 音量・調節可
**ペダル:** 付属ペダル(SP-3)使用時: ダンパー(オフ、オフ)、ソステナート(オフ、オン)、ソフト(オフ、オン)、メトロノーム(スタート、ストップ)、テンポ設定の間で切り替え可 / ペダルユニット(SP-34、別売品)使用時: ダンパー(オフ、ハーフ、オン)、ソステナート(オフ、オン)、ソフト(オフ、オン)
**その他の機能:** オートレジューム、操作のロック、通知音設定(セット1〜セット3切り替え可、音量調節可)
**MIDI:** 16chマルチチャンネル受信
**入出力端子:** PHONES端子: ステレオミニジャック×2 / 電源端子: DC12V / LINE OUT R/L/MONO 端子: 標準ジャック×2(出力インピーダンス 600Ω、出力電圧 1.3V (RMS) MAX) / USB端子: Type A、Type B / DAMPER PEDAL端子: 標準ジャック / PEDAL UNIT端子: 専用形状音響: アンプ出力: 8W+8W / スピーカー: 16cm×8cm(楕円形)×2

**電源:** 2電源方式
電池: 単3形アルカリ乾電池6本使用
連続動作時間: 約4時間
アルカリ電池使用、内蔵デモ再生時

ご使用の電池の種類や演奏方法によっては連続動作時間が短くなる場合があります。
家庭用AC100V電源: ACアダプターAD-A12150LW使用
オートパワーオフ機能: 約4時間後(ACアダプター使用時): 約6分後(電池使用時)、キャンセル可能
**消費電力:** 12V 10W
**サイズ:** 幅132.2×奥行23.2×高さ10.2cm
**質量:** 約11.2kg(乾電池含まず)

- 改良のため、仕様およびデザインの一部を、予告なく変更することがあります。

### ■スマートデバイスとリンクする(APP機能)

スマートデバイスと本機を接続すると、アプリで本機を操作(ピアノリモートコントローラー)したり、アプリのさまざまな機能を楽しんだりすることができます。

- 各種操作について詳しくは、アプリの説明書をご覧ください。

弊社ウェブサイトからスマートデバイス用アプリをダウンロードして、お使いのスマートデバイスにインストールしてください。

<https://support.casio.jp/emi/manual/PX-S1100/>



## 本機を工場出荷時の状態に戻す

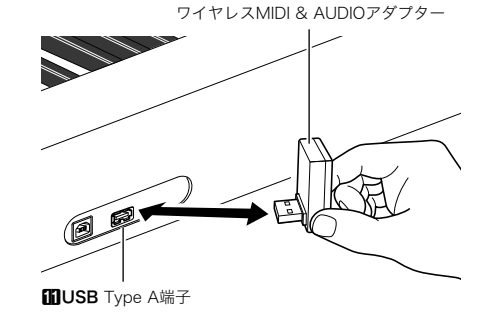
下記の操作で、本機のデータや設定などシステムの内容すべてを初期化して、工場から出荷したときの状態に戻すことができます。

- 🔊FUNCTION**を押さえたまま、**AO**鍵盤を押します。**🔊FUNCTION**は手順2まで押さえたままにしてください。初期化の待機状態になり、**🔊FUNCTION**が速く点滅します。
  - 次の操作で初期化が実行されます。初期化をやめるには、**🔊FUNCTION**を離してください。
- 初期化を実行するには、**C1**鍵盤を押します。初期化が開始されます。
  - 初期化には、しばらく時間がかかることがあります。完了するまでお待ちください。初期化が完了すると、本機フロントパネル部のすべてのタッチボタンが点灯します。

## 付属のワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターを使う

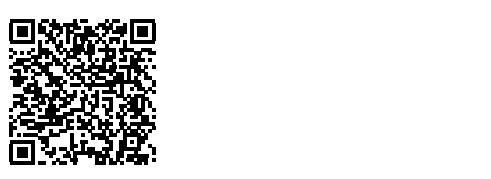
ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターを本機の **🔌**USB Type A端子に接続すると、次のことができます。

- Bluetooth接続したスマートデバイスの再生音を本機のスピーカーから鳴らす
- Bluetooth Low Energy接続でMIDI機能を使う
- スマートデバイス用アプリを使う



- 🔌**ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターを取り外すときは、**本機の電源を切ってください。**

**■外部機器と接続する**
弊社ウェブサイトにある「取扱説明書」の「ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプター × オーディオ&パソコン接続ガイド」をご参照ください。
<https://support.casio.jp/emi/manual/PX-S1100/>



## 演奏を録音/再生する(MIDIレコーダー)

鍵盤演奏を本機で録音し、再生できます。

📺重要!

- 本機の故障、修理などによる録音内容の消去により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、**当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。**
- 録音中に電源が切れると、録音してあった内容はすべて消去されます。

**📺**重要
本機のMIDIレコーダーでは、左手パートと右手パートの2トラックを別々に録音し、1曲に仕上げることもできます。ここでは、左手パート・トラックだけを使って簡単に録音する操作を説明します。詳しい録音操作については、弊社ウェブサイト「取扱説明書」を参照してください。

- 1曲に記録できる最大音符数は、2トラックの合計で約10,000音符です。
- ソングタイプをMIDIに設定します。**🔊FUNCTION**を押さえたまま、F6鍵盤を押します。

- 曲の再生を始めるには、**🔊▶**■を離します。
- 曲の選択が済んだら、**🔊▶**■を離します。
- 曲の再生を始めるには、**🔊▶**■にタッチします。
  - 曲の終わりで到達すると、再生は終了します。曲の途中で再生を止めるには、**🔊▶**■にタッチします。

### 録音するには

- 🔊REC**(白色で点灯)にタッチします。録音待ちの状態になり、**🔊REC**(赤色)と**🔊▶**■(白色)が点滅します。
  - 録音を開始するには、**鍵盤演奏を開始します。****🔊REC**(赤色)が点滅から点灯に切り替わり、録音中になったことを表します。
    - 録音中に残り音符数が100以下になるとインジケーターが下記ののように切り替わります。Lのみ点灯:左手を再生し、右手のパートを消します。Rのみ点灯:右手を再生し、左手のパートを消します。LRともに点灯:右も再生し、左も再生します。
  - 🔊REC**(赤色)が白色点灯に戻ります。
- 録音内容を再生するには、**🔊▶**■にタッチします。

### 録音した内容を再生するには

- 🔊▶**■を押さえたまま、B7鍵盤を押します。
- 🔊▶**■を離します。
  - 曲の再生を始めるには、**🔊▶**■にタッチします。
    - 曲の終わりで到達すると、再生は終了します。曲の途中で再生を止めるには、**🔊▶**■にタッチします。

## 曲を聴く(ミュージックライブラリー)

ピアノの名曲が鑑賞できます。また、曲の右手パートまたは左手パートの音を消して、自分で弾く練習ができます。

### ■ミュージックライブラリーの曲を聴くには

- 🔊▶**■を押さえたまま下記鍵盤を押して、聴きたい曲を選びます。

鍵盤	鍵盤を押したときの動作
C2～B6	押した鍵盤に応じて、内蔵曲(曲番号1～60)が選択されます。
B0	1つ後の曲番号を選択します。
B♭0	1つ前の曲番号を選択します。

- 鍵盤と曲番号の対応および曲目については「ミュージックライブラリーリスト」をご参照ください。
- 曲の再生を始めるには、**🔊▶**■を離します。
- 曲の選択が済んだら、**🔊▶**■を離します。
- 曲の再生を始めるには、**🔊▶**■にタッチします。
  - 曲の終わりで到達すると、再生は終了します。曲の途中で再生を止めるには、**🔊▶**■にタッチします。

### ■再生パートを選んで曲を再生するには

- 「ミュージックライブラリーの曲を聴くには」の手順1、2の操作で、曲を選びます。
- 必要に応じて、「テンポを設定する」の操作で曲のテンポを設定します。
- 再生パート(右手パートまたは左手パート)を選びます。
  - 「**🔊▶**■」を押さえたまま、AO鍵盤(一番左側の白鍵)を押します。押すたびに、「L」と「R」のインジケーターが下記ののように切り替わります。Lのみ点灯:左手を再生し、右手のパートを消します。Rのみ点灯:右手を再生し、左手のパートを消します。LRともに点灯:右も再生し、左も再生します。
  - 🔊▶**■を離します。

- 「ミュージックライブラリーの曲を聴くには」の手順1、2の操作で、曲を選びます。
- 必要に応じて、「テンポを設定する」の操作で曲のテンポを設定します。
- 再生パート(右手パートまたは左手パート)を選びます。
  - 「**🔊▶**■」を押さえたまま、AO鍵盤(一番左側の白鍵)を押します。押すたびに、「L」と「R」のインジケーターが下記ののように切り替わります。Lのみ点灯:左手を再生し、右手のパートを消します。Rのみ点灯:右手を再生し、左手のパートを消します。LRともに点灯:右も再生し、左も再生します。
  - 🔊▶**■を離します。

**■デュエット機能を使うには**
**📺**重要
下記操作で使う鍵盤の位置は、「鍵盤機能一覧」の「FUNCTION ボタン + 鍵盤」をご参照ください。

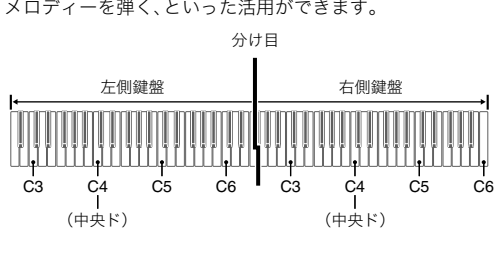
- 🔊FUNCTION**を押さえたまま、C6鍵盤を押します。C6鍵盤を押して設定が切り替わるたびに、切り替わった後の設定音を必ず通知音が鳴ります。

通知音	設定値	説明
オフ音	オフ	デュエット機能をオフにします。
番号通知音×1回	オン	デュエット機能をオンにします。
番号通知音×2回	パン	デュエット機能をオンにし、左側鍵盤の音は左スピーカーからのみ、右側鍵盤の音は右スピーカーからのみ出るようにします。

- 希望する設定に切り替わったら、**🔊FUNCTION**を離します。

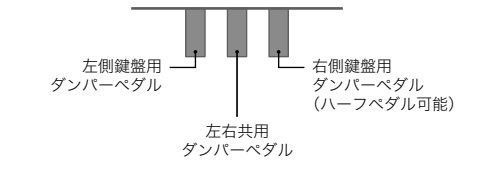
## 鍵盤を左右に分けて2人で弾く(デュエット)

鍵盤の中央から右側と左側で同じ音域にすることができます。左側で先生がお手本演奏をして、右側で生徒さんが同じメロディーを弾く、といった活用ができます。



### ■ペダルについて

別売のSP-34をお使いの場合、両端のペダルが、それぞれ左側鍵盤用と右側鍵盤用のダンパーペダルになります。3本のペダルのうち、右側鍵盤用ダンパーペダルのみハーフペダルに対応します。



・付属のSP-34をお使いの場合、左右共用ダンパーペダルにするには、**🔌**DAMPER PEDAL端子に接続します。ハーフペダルには対応しません。

### ■デュエット機能を使うには

**📺**重要
下記操作で使う鍵盤の位置は、「鍵盤機能一覧」の「FUNCTION ボタン + 鍵盤」をご参照ください。

- 🔊FUNCTION**を押さえたまま、C6鍵盤を押します。C6鍵盤を押して設定が切り替わるたびに、切り替わった後の設定音を必ず通知音が鳴ります。

通知音	設定値	説明
オフ音	オフ	デュエット機能をオフにします。
番号通知音×1回	オン	デュエット機能をオンにします。
番号通知音×2回	パン	デュエット機能をオンにし、左側鍵盤の音は左スピーカーからのみ、右側鍵盤の音は右スピーカーからのみ出るようにします。

- 希望する設定に切り替わったら、**🔊FUNCTION**を離します。

## サウンドモード

**🔊**SOUND MODEボタンを使って、下記効果のオン/オフを切り替えることができます。

- ホールシミュレーター
透明感のある端正な響きや、伸びやかで華やかな響きなど、世界的に有名なコンサートホールや建築物内の、それぞれ異なる音響特性をシミュレートします。

- 🔊サラウンド**
擬似的な立体音響(バーチャルサウンド効果)が得られます。

📺重要!

- サラウンドの効果は、本機の**🔊PHONES**端子および**🔌**LINE OUT R、L/MONO端子からの出力音にはかかりません。

### ■ホールシミュレーターとサラウンドのオン/オフを切り替えるには

- 🔊SOUND MODE**にタッチします。
  - タッチするたびに、LEDの点灯状態が次のように切り替わります。

<span>▶</span> <b>SOUND MODE</b> <span>▶</span>	<span>▶</span> <b>SOUND MODE</b> <span>▶</span>	<span>▶</span> <b>SOUND MODE</b> <span>▶</span>
ホールシミュレーター オフ	ホールシミュレーター オン	ホールシミュレーター オフ
サラウンド オフ(初期設定)	サラウンド オン	サラウンド オフ

### ■ホールシミュレーターのタイプを選ぶには

- 🔊SOUND MODE**を押さえたまま、A0～C1鍵盤のいずれか1つを押します。

鍵盤	設定値	設定内容
A0	1:STANDARD HALL	一般的なコンサートホール
B♭0	2:OPERA HALL	ユニークな形状をしたシドニーのコンサートホール
B0	3:BERLIN HALL	ベルリンのアリーナ形式クラシックコンサートホール
C1	4:BRITISH STADIUM	ロンドン郊外の大型野外スタジアム

### 2. **🔊SOUND MODE**を離します。

### ■サラウンドのタイプを選ぶには

- 🔊SOUND MODE**を押さえたまま、F1鍵盤(サウンドタイプ1)またはF#1鍵盤(サウンドタイプ2)を押します。
- 🔊SOUND MODE**を離します。

## メトロノームを使う

メトロノームは一定の間隔で拍子を刻みます。メトロノームを使うことで、一定のテンポを保つ練習ができます。

### ■メトロノームを鳴らすには、止めるには

**🔊**METRONOMEにタッチします。

- メトロノームがスタートします。
- メトロノームの拍子に合わせて、**🔊▶**■ボタンの上にある黄色と赤のLEDが点滅します(1拍目:黄色、残りの拍:赤)。

- メトロノームを止めるには、もう一度**🔊**METRONOMEにタッチします。

### ■メトロノームの拍子を変えるには

- 🔊**METRONOMEを押さえたまま、C2～A2鍵盤のいずれか1つを押します。

鍵盤	設定値	設定内容
C2	オフ	すべての拍でクリック音だけが鳴ります。
C#2	1	すべての拍でベル音が鳴ります。
D2	2	
E♭2	3	
E2	4	
F2	5	2拍子～9拍子に設定します。1拍目にベル音が鳴り、残りの拍はクリック音が鳴ります。
F#2	6	
G2	7	
A♭2	8	
A2	9	

- 各鍵盤の位置は、「鍵盤機能一覧」の「METRONOME ボタン + 鍵盤」をご参照ください。

- 🔊METRONOME**を離します。

## テンポを設定する

メトロノームや、ミュージックライブラリーの曲を再生する際のテンポを、20～255(拍/分)の間で設定できます。テンポの設定を使う鍵盤の位置は、「鍵盤機能一覧」の「METRONOME ボタン + 鍵盤」をご参照ください。

### ■テンポの設定値を入力するには

- 🔊**METRONOMEを押さえたまま、B0～A♭1鍵盤を使ってテンポの設定値を入力します。
  - テンポの設定値は3桁で入力します。100(拍/分)未満のテンポを設定したいときは、数値の先頭に必ず「0」を付けてください。例えば80拍/分にしたい場合は、B0(0) → G1(8) → B0(0)の順に鍵盤を押します。3桁目まで入力すると、完了音が鳴ります。
  - 🔊**METRONOMEを押さえたままAO鍵盤(−)またはB♭0鍵盤(+ )を押すことで、テンポを1ずつ上げ下げすることもできます。
- 設定が済んだら、**🔊**METRONOMEを離します。

## ご使用上の注意

別紙の「安全上のご注意」と併せてお読みください。

### ■設置上のご注意

本機を次のような場所に設置しないでください。

- 直射日光のあたる場所、温度の高い場所。
- 極端に温度の低い場所。
- ラジオや、テレビ、ビデオ、チューナーに近い場所(これらを近くに置いた場合、本機には特に障害はありませんが、近くに置いたラジオやテレビの側に雑音や映像の乱れが起こることがあります)。

カビを予防するために、風通しに配慮して設置場所の温度・湿度を保ってください。

- 推奨温度範囲:15 ～ 25℃
- 推奨湿度範囲:40 ～ 60%RH

### ■本機のお手入れについて

- 乾いた柔らかい布で拭いてください。ティッシュは傷がつきやすいのでご使用にならないでください。
- 汚れが気になる時は、薄めた中性洗剤に柔らかい布で軽く固く絞ってから軽く拭き取り、乾いた柔らかい布で優しく製品表面を拭いてください。
- 変色、変質、塗装はがれ、ひび割れ等の恐れがありますので、ベンジン、有機溶剤、アルコール等が含まれるクリーナー剤、塩素系消毒液、アルコールタイプの除菌シート等をご使用にならないでください。

### ■除菌・消毒方法について

- ノンアルコールの除菌シートで2～3回拭き取りをした後、乾いた柔らかい布で軽く拭いて仕上げてください。
- 乾拭きをしないで放置すると痕が残りますので、ご注意ください。
- 複数の方が製品をご利用する場合は、ご利用前後に手を消毒していただくことをおすすめします。

### ■付属品/別売品

付属品や別売品は、本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となる場合があります。

### ■ウエルドライン

外観にスジのように見える箇所がありますが、これは、樹脂成形上の「ウエルドライン」と呼ばれるものであり、ヒビやキズ成形上はありません。ご使用にはまったく支障ありません。

### ■音のエフェクト

楽しい音楽も時と場合によっては気になります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。周囲に迷惑のかららない音量でお楽しみください。窓を閉めたり、ヘッドホンを使用するのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。